2026年10月20日締切分　漢字部・かな部・詩文書部・硬筆部

師範・準師範・昇段級試験受験についての諸注意

【締　　切】

2026年10月20日※各部門共通　しめきり厳守

【受験資格】

（漢字部・かな部・詩文書部）

①師範受験の方は、受験される部門において準師範であること。かつ、日本書道院展2回以上または咲蕾展3回以上出品経験者で、満20歳以上であること。（2007年4月1日生まれまで認める。）毎日書道展出品も考慮する。

②準師範受験の方は、受験される部門において6段であること。かつ、日本書道院展に1回以上または咲蕾展2回以上出品し、満18歳以上であること。（2009年4月1日生まれまで認める。）毎日書道展出品も考慮する。

③昇段級試験は、2級以上の方は第1部の半切課題も受験できる。（飛び級もある。2級の方は審査により初段への昇格もある。）2級以下の方は、第2部の半紙課題を受験する。

（硬筆部）

①師範受験の方は、硬筆部において準師範であること。

②準師範受験の方は、硬筆部において6段であること。

③昇段級試験は、1級以上のものは今回出題の応用部の課題を書く。2級以下のものは、今回出題の基礎部の課題を書く。

※読と註は、掲載号または日本書道院で頒布している「昇段級試験資料」をご参照下さい。

【受　験　料】

（漢字部・かな部・詩文書部）

※受験料は振込用紙にて日本書道院宛に、内容を明記の上お振込み下さい。現金での取り扱いはいたしません。

①師範各部門　12、000円
②準師範各部門　8、000円
③昇段試験（第1部・半切）　4、000円
④昇級試験（第2部・半紙）　1、500円

（硬筆部）

①師範　8、000円
②準師範　5、000円
③昇段試験（1級から5段の方）　3、000円
④昇級試験（2級から新入8級の方）　1、500円

【作品提出に同封するもの】

◎師範及び準師範受験者

①各項目記入済の受験申請書

110円切手を添えて事務局に請求するか、ホームページより申請書をダウンロードできます。

②師範受験者に限り、試験結果をお知らせするため**ご自身の名前と住所を明記した切手付き返信用封筒を同封すること。**

◎師範・準師範・昇段受験者共通して提出するもの

「日本書道」10月号の**巻末の「出品一覧表」**に記入したもの。

【そ の 他】

①作品には支部名、氏名又は号を書いた小票（たて11センチ×よこ4センチ・競書用出品券使用可）を作品の左下に貼付。赤字で昇試と記入のこと又作品左下隅にも同じく鉛筆で段級・支部名・氏名を記入のこと。

②提出作品には赤字で**「昇級試験在中」**と明記してご提出下さい。

③出品作品は、**必ず雅印押印**して下さい。（押印をして初めて作品となる。）

漢字部課題

▽第六十八次師範試験課題

次の作品三点〔何れも半切35cm×135cmに揮毫〕を提出

◎規　定《書体　楷書》

圖南鵬翼（荘子）　〈2025年1月号〉

◎臨　書　爭坐位稿　十六字

行百里者半九十里　言晩節末路之難也

◎随　意《書体　行草書》

素琴孤劍尚閑遊誰共芳樽話唱酬（姚揆）　〈2025年5月号〉

▼第八十次準師範試験課題

次の作品二点〔何れも半切35cm×135cmに揮毫〕を提出

◎規　定《書体　行草書》

秋山破夢風生樹夜水明楼月在湖（文徵明）〈2025年10月号〉

◎臨　書　集王聖教序（王羲之）十四字

朕才謝珪璋言慙　博達至於内典尤

○第一三九次昇級試験課題

第一部　［半切35cm×135cm］縦に揮毫したもの一点を提出

春江潮水連海平海上明月共潮生（張若虚）〈2025年2月号〉

第二部　［半紙］楷書で揮毫したもの一点を提出

凌雲之志（漢書）　〈2025年3月号〉

かな部課題

▽第六十八次師範試験課題

次の作品三点〔何れも半切35cm×135cmに揮毫〕を提出

規　定《書体自由》

立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む

（中納言行平）〈2025年11月号〉

臨　書　関戸本古今集（伝　藤原行成）

山ざくらわがみにくればゝるがすみ

みねにもをにもたちかくしつゝ

随　意《書体　自由》

何おもふともなく柿の葉のおちることしきり

（種田山頭火）〈2025年11月号〉

▼第八十次準師範試験課題

次の作品二点〔半切35cm×135cmに揮毫〕を提出

規　定《書体自由》

天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも

（安倍仲麿）〈2025年2月号〉

臨　書　高野切第三種（伝　紀貫之）

わがいほはみやこのたつみしかぞすむ

よをうぢやまとひとはいふなり

○第一三九次昇級試験課題

第一部　［半切35cm×135cm］縦に揮毫したもの一点を提出

花の色は移りにけりないたづらにわが身世にふる

ながめせし間に（小野小町）〈2025年4月号〉

第二部　［半紙］書体自由で揮毫したもの一点を提出

わが庵は都のたつみしかぞ住む世をうぢ山と人はいふなり

（喜撰法師）〈2025年3月号〉

詩文書部課題

▽第二十六次師範試験課題

次の作品三点〔何れも半切35㎝×135㎝に揮毫〕を縦作品で提出

規　定《原文を尊重すること》

霊の薄き瞳を見るごとし時雨の朝の小さき自鳴鐘（北原白秋）

〈２０２５年９月号〉

臨　書〔いろは歌〕半切に揮毫、得意な古法帖（限定はしない）にて。全部ひらがなでもよい。

いろ（色）はにほ（匂）へどち（散）りぬるを
わ（我）がよ（世）たれ（誰）ぞつね（常）ならむ
うゐ（有為）のおくやま（奥山）けふ（今日）こ（越）えて
あさ（浅）きゆめ（夢）み（見）じゑひ（酔）もせず

随　意《原文を尊重すること》

八月のうぐひす幽し嶽の雲（渡辺水巴）　〈２０２５年８月号〉

▼第五十次準師範試験課題

次の作品二点〔何れも半切35㎝×135㎝に揮毫〕を縦作品で提出

規　定《原文を尊重すること》

潮碧しわかめ刈る舟木の葉の如し（杉田久女）〈２０２５年４月号〉

臨　書　集王聖教序（王羲之）五字

弘福寺沙門

○第五十次昇級試験課題

第一部　〔半切〕半切35㎝×135㎝に揮毫したもの一点を提出
※縦作品に限る〔原文を尊重すること〕

むまさうな雪がふうはりふはり哉（小林一茶）〈２０２５年12月号〉

第二部　〔半紙〕半紙に揮毫したもの一点を提出
※縦作品に限る〔原文を尊重すること〕

夕月はすずしき苔のにほひ哉　〈２０２５年６月号〉

硬筆部課題

▽第十一次師範試験課題

次の課題を〔硬筆用紙〕に書いたものを三点提出

規　定《楷書》

苑路暗迷香輦絶　繚垣秋斷草煙深（崔塗）〈２０２５年11月号〉

随　意《原文を尊重すること　書体自由》

笑顔は最も大切です　経済活動も人生も
人の笑顔を生む喜びが最大の原動力です。〈２０２５年１月号〉

臨　書　高野切第三種（伝　紀貫之）

よのなかのうきたびごとにみをなげば
ふかきたにこそあさくなりなめ

▼第二十二次準師範試験課題

次の課題を〔硬筆用紙〕に書いたものを二点提出

規　定《書体自由》

初々しさが大切なのどぎまぎしたっていいんだよ。
大事にしたいね初心を。　〈２０２５年８月号〉

臨　書　蘭亭序（王羲之）十六字

永和九年歳在癸丑　暮春之初會于會稽

○第二十四次昇級試験課題

課題を［硬筆用紙］に書いたものを一点提出

応用部（一級から五段）

社会のリーダーや多少とも余裕のある大人には
希望を語る役割があるのでは　〈２０２５年10月号〉

基礎部（新入八級から二級）

展覧会を見に来てくれた方々に
生き生きとした作品を提供したい。　〈２０２５年６月号〉

第十四次毛筆細字部「玄位」認定試験要項

【課　題】二〇二五年八月から二〇二六年一月までに日本書道の毛筆細字部課題として発表された中から二点と、「自由課題（選文自由、三〇～四〇文字程度）」一点の合計三点とする。
（自由課題の例）格言、小説の一節等を自分で選んで提出する。自作の文・詩も可とする。

―受験についての注意―

一　受験資格
二〇一八年一月以降の競書毛筆細字部で六回以上の出品の者。
二〇二七年四月一日時点で二〇歳以上の者。

二　受験料
八千円
※受験料は郵便振替で送金する。

三　受験用紙
作品提出用紙は日本書道院指定の用紙を使用する。
（競書提出用紙と同じ。）

四　受験申請
受験申請書は返信料百十円切手を添えて本部に請求する。または日本書道院ホームページ「情報配信コーナー」の「申請書ダウンロード」から印刷すること。

五　添付書類
受験者は「玄位」の受験申請書を作品と共に提出する。試験結果のお知らせ用の返信用封筒（宛名、住所を明記し、切手貼付したもの）を作品と同封する。なお作品は返却しない。
※毛筆細字部のみの受験は出品一覧表は必要なし。

六　作品締切
二〇二六年一〇月二〇日（火）まで必着。

七　合格発表
二〇二六年十二月号（不合格者は発表しない。）

八　認定料
認定料として五万円を納入し、合格者には認定証を交付する。認定証の姓号は申請書の姓号とする。納入しない場合は認定しない。

九　認定交付
合格発表時に詳細を通知する。

十　会員資格
玄位認定者で日本書道院の会員になっていないものは、この認定で会員資格を得ることができる。

◎第二部『第二部・半紙』受験のおすすめ
本院では、第二部・半紙での昇級試験を受験できる制度を設けております。長年昇級できない方が昇級できるチャンスです。是非この機会に半紙での昇級試験を受験されることをお勧めします。

師範・準師範・昇段級試験受験について、提出作品には赤字で、**「昇級試験在中」**と明記してご提出いただきますようお願いいたします。